

# チョウのやじろべえをつくらう

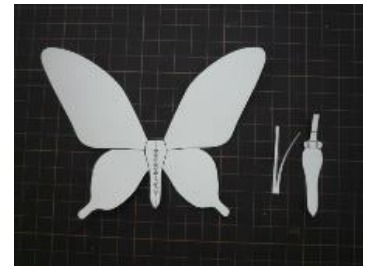
## コニカミルタサイエンスドーム

八王子市こども科学館

チョウの形をしたやじろべえです。支えるところ(支点)は口の部分で、チョウのようにクルクルとまいた形をしています。つり合いがとれるとシーソーのように頭とおしりをゆらすことができます。左右にはゆれませんが、チョウの支点と指先などの支えるものが線でふれ合うからです。(点でふれ合うつくりのやじろべえでは前後左右にゆらゆらとゆれます→リボンのやじろべえ)

### いんさつ

- ① A4の大きさを少し厚めの紙に印刷してください。チョウは2つつくれます。または、ふつうの紙に印刷して、画用紙くらいの厚さの紙に、糊か木工ボンドで貼ってください。→\*ボンドで貼る時のコツ
- ② 古いハガキに印刷することもできます。ハガキの大きさのバージョンのもので印刷してください。はねの模様をかくにはクレヨンなどがハガキの字がかくれるのでよいでしょう。



### つくりかた

- ① 外がわの線にそって切りとります。\*はねの真ん中の線は切らないように。\*しよっかくの真ん中は線にそって切ってください。
- ② どうたいのうらがわ(目の下からおしりのさきまで)にのりをつけてチョウに貼ります。
- ③ 口をくるくると巻きます。(ピンセットで口のさきをつまみ、スパゲッティをフォークにかからめるような感じで回すときれいに巻けます。



**かたちのちょうせいと、バランスとり** シーソーのように前後にゆれてバランスがとれます。  
!前から見たとき、左右のかたちがそろっていることが大切です。

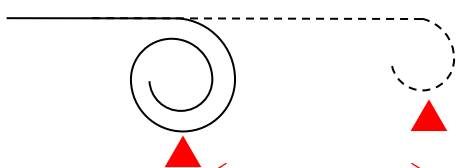
(☺) しよっかくはバランスをあまりくずさないで、好きな形にできます)

- ① **左右のバランス** はねを、時計の針でいうと8時20分くらいの向きになるように、はねの付け根のところで下にまげます。

!さらに下にまげると(7時25分など)、より安定しますが、形はチョウらしくなくなります。ぎゃくに、はねを9時15分まで上げるとバランスがとれません。バランスがとれるギリギリのところまではねを上げて、よりチョウらしくしてみましょう。



- ② **前後のバランス**



口をまるめたりのぼしたりして  
支点▲の位置(いち)や高さをかえる  
びみょうなちょうせいです!



口をのぼしたとき。  
支点▲は、あたまの  
さきのほうへ(図の右  
がわ)へ移動(いどう)



中間  
(ちゅうかん)



口をたくさんまいたとき。  
支点▲はおなかのほう(図の左  
がわ)へ移動